



文・イラスト:Nozaki Fumitoko

## - 混沌とした時代を生きる -

私は、ボランティアグループや地域の方々に、快適な関係づくりの話をすることがあります。絵本を使うことで、その人の生き方に向き合う話も、参加者の心に届きやすくなるのを感じます。童心を呼びさまされ、生成りの自分に戻り、その心に触れるからでしょうか。私は、良い絵本には人の心を動かす力があると思っています。「多様性の受容」や「人権」のことも拒否反応を起こさず考える機会にはなるようです。

ところで、この「関係性」への関心は、人の繋がりが薄くなり、より確かな関わりを求めていることか、或いは今の社会で生きにくさを感じていることでしょうか。社会に合わせて生き方を決めてきたこれまでと違い、一人ひとりが望む社会のために、今をどう生きていくのか、情報を得ながら、時代・社会状況と折り合いをつけ、自ら考え行動し発信する生き方を選択できるようになりました。社会の急激な変化は、社会の歪を顕在化させ、その痛みを感じている当事者の声がDV防止法などの法制度の改正を促してきました。これからは誰もが社会の一員としての当事者意識を持って生きることを求められるでしょう。

この数年様々な関心を接点に社会に関わる多様なコミュニティが増え、それぞれの方法で、新たな公共を担う活動をしています。今年度国は光が当たりにくかったところへ光をそそぐ地域活性化交付金を補正し、その活用に関心もあげています。ソフト面で私たちが地域の担い手である当事者意識と力を蓄えていくことが必要になっています。知は力なり。総合的な知の交流の場としての図書館に新たな機能の可能性を感じています。

NPOあきたえんぱわPLACE・06理事長

秋田県立図書館協議会副会長

松葉谷 温子

## Hurry up! 学校図書館と公立図書館との連携

### ■今なぜ学校図書館と？

育ちゆく子どもたちに、豊かな人間性を形成する大きな枠組みとなるように、バランスのとれた知識や知恵を与えたい。その手助けになるのは「本」です。

しかし、子どもにとって価値ある本は、当の子どもたちに十分に手渡されているのでしょうか。

平成22年度全国学力学習状況調査の結果によると、秋田県は、「読書が好きだ」「学校で毎日朝読等をしている」という調査項目は全国平均を上回っています。しかし、「学校図書館を活用した授業の実施」「学校や地域の図書館の利用」については、全国平均を下回っており、県内の読書環境についての見直しが急務です。今後、児童生徒の図書館離れをくい止め、言語力・読解力の育成と読書活動の一層の推進が求められます。

今県内には、専門性をいかし、学校図書館との連携により、児童サービスを一層充実させようという公立図書館の動きが広がっています。

### ■ここまで進んでいる連携

大仙市では、この4月に「大仙市親と子の夢をはぐくむ読書活動推進計画」を作成し、活動を開始しました。市立図書館が主催して学校図書館、ボランティアなどとの合同研修会を実施したり、公立図書館職員が学校図書館訪問を行い、学校図書館活性化の支援をしたりしています。

横手市では、市独自採用の学校司書を増やし、公立図書館が、学校に巡回図書を提供したり、学校とボランティアのコーディネートをしたり、連携が広がっています。

仙北市では、公立図書館3館の蔵書データの共通化の実施、学校図書館の蔵書のデータ化・共通化の計画が進んでいます。今年度中に読書振興に関する条例を設け、図書館、教育委員会、学校と協力して読書推進を図っていかようとしています。

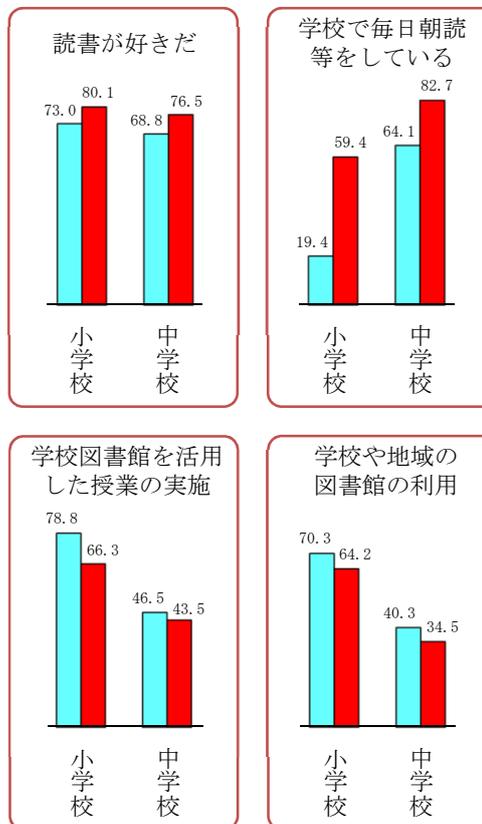
### ■県立図書館の役割

これまで県立図書館は、県立学校図書館への資料提供、学校図書館の環境整備の支援を進めてきましたが、併せて、昨年度から小中学校図書館の活性化の推進も視野に入れ、市町村図書館等の訪問時の助言や研修会の開催を通して、公立図書館と学校図書館の連携強化を図ってきました。

今後、学校図書館の環境整備、調べ学習・読書活動のサポート、研修会等を通して、さらに連携を強化していきたいと考えています。

(秋田県立図書館館長 石井鈴子)

■ 全国平均 ■ 秋田県 (%)

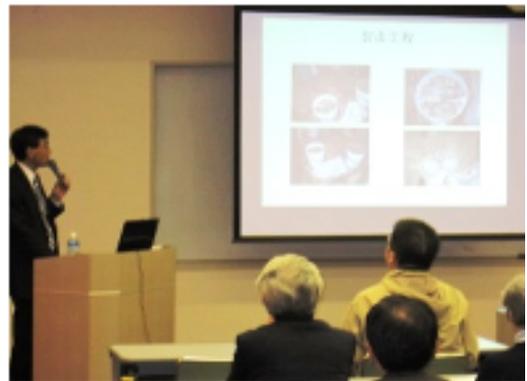


## 秋田を学ぶ講座シリーズ

- 主催 放送大学秋田学習センター  
秋田県立図書館
- 第3回『しょつつるで地域を元気に』  
講師：諸井秀樹氏（諸井醸造所代表）
- 日時：11月13日（土）  
13：30～15：00
- 場所：県立図書館 3階 多目的ホール

諸井醸造所の三代目、諸井秀樹氏を講師に招いて、講演『しょつつるで地域を元気に』が行われました。

諸井醸造所では、男鹿産ハタハタを100%使用した伝統的なしょつつるの製法を復活させ、地域活性化に貢献、国内に留まらず、海外にも郷土の味を広めています。講演ではしょつつるの復活から現在にいたるまでの経緯を詳しく紹介したほか、全県の地産地消を呼びかける内容でした。終盤には「携帯用のしょつつる」と「秋田しょつつるを使った簡単レシピ」が、お土産として配られ、しょつつるの活用の仕方を紹介しました。参加人数は30名と好評でした。



## より快適な図書館をめざして

12月の特別整理期間は、空調設備交換工事等のために、昨年度より1週間長く休館いたしました。新県立図書が開館して18年が経ち、各設備が老朽化しており、故障した場合は、長期の休館となることが予想されたためです。ご利用の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしました。

この期間中に、閲覧サービスの向上を図りました。新設の「生活支援」関連資料は、県民の身近な課題を支援するために、生活相談、シニア、闘病記、生きる力を与える本で構成されています。

「ビジネス支援コーナー」は従来の「地域活性化コーナー」をリニューアルしたものです。ビジネスに必要な統計、白書、経営に関する資料等を提供しています。

「えほんのへや」、「調べ学習コーナー」、「郷土資料コーナー」も資料の入れ替え、サインをわかりやすくする等の作業を職員が行いました。

今後も快適な図書館を目指し、改善に努めてまいります。



## 受賞のご紹介

- 図書館法施行60周年記念 図書関係者文部科学大臣表彰（9月）

図書館法施行60周年を記念して、当館の山崎博樹主任図書専門員が、文部科学大臣より表彰されました。表彰式は、第96回全国図書大会奈良大会の折、奈良県立大学で行われました。

- ビジネス支援レファレンス・コンクール テーマ賞・ユニーク回答賞受賞（11月）

ビジネス支援図書館推進協議会でH22年「ビジネス支援レファレンス・コンクール」が行われました。全国からは150人の公募があり、秋田県からは、当館の職員グループが第3テーマ賞、横手市立中央図書館 築瀬亮朋さんがユニーク回答賞を受賞しました。

## おしらせコーナー

### ■特別展示 清新な美の奇蹟 横山 津恵 展

共催 秋田県近代美術館

- 【開催日時】 平成22年12月15日(水)～  
平成23年 2月 6日(日)  
10:00～17:00
- 【開催場所等】 県立図書館2階特別展示室 入場無料
- 【内容】 昭和22年から平成3年までの14作品ほか、岩絵の具や筆などの遺品

近代美術館では、横山津恵が師と仰いだ日本画家高橋萬年の企画展示(平成23年1月30日まで)を行っています。



【横山 津恵 展】

### ■第5回郷土展示

「秋田のむかし遊び～ふるさとカルタを中心に」

- 【開催期間】 平成22年12月15日(水)～  
平成23年 1月31日(月)
- 【開催場所等】 県立図書館2階閲覧室
- 【内容】 『秋田竿燈カルタ』  
『古里かるた 私たちの八橋・寺内』  
『土崎郷土かるた』  
『ふるさとわたしたち旭南・川尻』  
『横手いろはかるた』  
『切り絵かるた』…他

県立図書館のホームページで、県立図書館が所蔵している「かるたの目録」を掲載しています。



【カルタの展示】

### ■あきた文学資料館 平成22年度第3回特別展示

「秋田の文学と風土Ⅲ 菅江真澄から今へー秋田の伝承とともにー」

- 【開催日時】 平成23年1月22日(土)～4月24日(日) 10:00～16:00
- 【開催場所等】 あきた文学資料館 1F展示室  
秋田市中通6丁目6-10 電話018(884)7760
- 【内容】 菅江真澄から現代の作家まで、秋田に伝わる祭りや年中行事を描いた作品に触れ、郷土秋田の風土を紹介します。

## ➤ 県立図書館だより

発行月 平成22年12月  
編集発行 秋田県立図書館  
住所 〒010-0952  
秋田市山王新町14-31



TEL 018-866-8400  
FAX 018-866-6200  
自動応答電話 018-866-8406  
パソコン用URL <http://www.apl.pref.akita.jp>  
携帯用URL <http://ill.apl.pref.akita.jp/m/>  
図書館全般についてE-mail [apl@apl.pref.akita.jp](mailto:apl@apl.pref.akita.jp)  
資料のお問い合わせE-mail [jouhou@apl.pref.akita.jp](mailto:jouhou@apl.pref.akita.jp)

